

1 学年通信



かがや

輝き

晃陽中学校第1学年

令和6年7月19日

No. 5

学年主任 野澤 将彦

みんなで楽しい学校にするための…、「実行しよう! 3つの「あ」」

○あいさつをすすんでしよう○相手の気持ちを考えて行動しよう○何事にも**熱く全力**を注ごう

「福祉・介護のお仕事」出前講座を聞いて



6月18日(火)6時間目に「福祉・介護のお仕事」出前講座が行われました。徳次郎デイサービスセンターの熊倉和哉様をお招きし、高齢者を中心とした介護に関すること、認知症に関することなどを、アクティビティを交えて学ぶことができました。

～生徒の感想から～

- ・福祉の仕事は介護だけでなく、障害のある方と一緒に働いたり、保育園で働いたりすることも福祉の仕事だと知ることができました。福祉の仕事は、人から感謝される素敵な仕事だと分かりました。
- ・認知症の方は日本に何十万人もいることが分かりました。もし自分の祖父母が、認知症になりそうだな、という時に、グーパー体操などをして、少しでも防げるといいなと思いました。
- ・ボディメカニクスということを知って、例えば脚や腰が悪い人を立たせてあげるためには、頭を動かしてあげると立つ人も立たせてあげる人も楽に安心して助け合えるのかなと思いました。自分もおじいちゃんやおばあちゃんが立つのが辛そうな時はこのような技術を使って助けてあげたいと思いました。その人に寄り添うことが大切だと思いました。

富屋特別支援学校との交流学习を実施して



7月11日(木)・16日(火)の総合的な学習の時間に、栃木県立富屋特別支援学校を訪問し、交流学習を実施しました。2日(火)には富屋特別支援学校の遠藤先生をお招きして、特別支援学校とはどのような学校で、また、どのような学習や生活をしているのかなどのお話をうかがいました。そして当日。ほとんどの生徒が初めての特別支援学校訪問。初日は緊張した面持ちで、それぞれの班ごとに自己紹介や質問タイムの時間を過ごしていました。2日目は多くの班が打ち解けて、ボッチャやミニバレーボール、爆弾ゲームなどをして楽しく交流していました。最後に特別支援学校の教頭先生から「インクルーシブ教育」についてお話をいただきました。障害の有無に関わらず、誰しものがともに学べる環境や仕組みが大事であるということでした。たった二日間でしたが、お互いにとって充実した時間を過ごせた交流学習となりました。



文化祭実行委員・合唱コンクール実行委員が決定

11月2日(土)に晃陽中学校文化祭が行われます。先日各クラスの文化祭実行委員と合唱コンクール実行委員が決定しました。今回は各実行委員の皆さんから文化祭や合唱コンクールへの意気込みや思いを聞きました。

～文化祭実行委員より～

- ・先輩たちが新しく作ってくれた文化祭を、これからもずっと後に伝えられるように頑張っていきたいです。(1年1組 岩本坦さん)
- ・今回の文化祭は、1年生は初めてで、準備などさまざまところでよく分からない面が多いかもしれませんが、まずこの文化祭を満喫してほしいと思います。2年生は二回目の文化祭で、昨年度よりも充実したものにしてほしいです。3年生は最後の文化祭なので悔いが残らない、そして素晴らしい思い出に残るような最高のものにしてほしいので、私は皆のお手本となれるように頑張りたいです。(1年1組 齋藤明範さん)
- ・初めての文化祭なので楽しく盛り上げていきたいです。実行委員として、しっかり生活から見本になれるような行動をしたいです。(1年2組 駒場悠晃さん)
- ・文化祭実行委員として、絶対に文化祭を盛り上げられるように頑張りたいです。活動に一生懸命取り組みたいです。(1年2組 手塚海斗さん)

～合唱コンクール実行委員より～

- ・皆を引っ張って練習などに取り組んで、さらに自分も力いっぱい頑張って歌って楽しんでいきたいです。そのために、たくさん自分のパートの歌を聞きたいと思います。(1年1組 山科美空さん)
- ・合唱コンクール実行委員として、先輩たちの姿を見ながら自分でもできる範囲のことをして、合唱コンクールがうまく回っていくように頑張りたいです。(1年2組 小池朱璃さん)